

研修日程

令和4年度高知県発達障害児等支援スキルアップ研修

時間 9:15~12:15 (9:00 受付開始)
 形式 オンライン配信
 申込み締切 令和4年5月31日(火)

番号	開催日	講義名・講師・内容
1	6月14日 (火)	「障害児支援の制度・あり方について」 障害福祉課 チーフ(障害児支援担当) 村山 真一 障害のある子どもへの児童福祉法上の支援、発達障害者支援法における発達障害児・者への支援、障害児支援のあり方などについて、講義を行う。
		「発達障害の理解と支援」 療育福祉センター発達障害者支援センター 所長 川村 郁子 発達障害の特性と基本的内容に関する講義を行う。
2	6月21日 (火)	「定型発達を理解-運動発達-」 療育福祉センターリハビリテーション部 チーフ(リハビリ第二担当) 山口 真里 「定型発達を理解-手の発達-」 療育福祉センターリハビリテーション部 部長 池 みつ江 「定型発達を理解-コミュニケーションの発達-」 療育福祉センターリハビリテーション部 主査 中川 明日香 子どもへの支援をするには、「定型発達」についての知識が大切となる。理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)それぞれの視点から、子どもの発達について説明する。
		「発達障害児の感覚特性について」 療育福祉センターリハビリテーション部 部長 池 みつ江 作業療法士(OT)の視点から、発達障害の感覚特性について説明する。
3	7月5日 (火)	「乳幼児期の発達の特徴に合わせた保育の在り方」 教育委員会事務局幼保支援課 チーフ(幼児教育担当) 中屋 江利子 就学前の保育・教育で求められていることについて学ぶ。各年齢ごとの乳幼児保育に関わるねらい及び内容や、幼稚園教育の基本などについて講義を行う。
		「子ども達を褒めて伸ばす方法 -ABA入門-」 一般社団法人 FOREST BEAR もりもりの森 代表理事 森下 浩充 応用行動分析(ABA)の基本的原理を用いて行動問題を抑制し、子ども達を褒めて伸ばす方法などについて講義を行う。
4	7月12日 (火)	「ペアレント・プログラムの概念と手法」 療育福祉センター発達障害者支援センター チーフ 野々宮 京子 ペアレント・プログラムは、保護者が子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、子育てへの自信をつけることを目的とした全6回のプログラムであり、「ペアトレの地域版」として位置づけられている。講義ではプログラムの概要と実施方法について紹介する。

令和4年度高知県発達障害児等支援スキルアップ研修

時 間 9:15~12:15 (9:00 受付開始)
 形 式 オンライン配信
 申込み締切 令和4年8月30日(火)

	番号	開催日	講義名・講師・内容
特別 講演	5	9月13日 (火)	<p>「支援のつながりを考える～"今"と"将来"を見つめる支援ってどんなものだろう?～」</p> <p>ライフサポート ここはうす 桑原 綾子 氏</p> <p>"今"、子どもに対して行っている支援は、子どもの"将来"に繋がります。でも、その子どもの"将来"は"今"の支援者の私たちにはまだ見えないものでもあります。私たちの支援が子どもの"将来"にいい影響を与えるものになるのか?またはその逆になるのか?まだ見ぬ将来に対する私たちの責任はとても大きいものだと思います。私たちが"今"できることは何でしょう。講演を通じて、そのことを一緒に考える機会にしたいと思います。</p>

番号	開催日	講義名・講師・内容
6	9月27日 (火)	<p>「障害者の権利擁護について」</p> <p>児童発達サポートセンターきらり 田村 孝子 氏</p> <p>障害児支援の視点から、児童の権利擁護について考える。障害者虐待防止法、障害者差別解消法について説明するとともに、虐待が起こる背景や合理的配慮、意思決定支援等について、事例を交えながら講義を行う。</p>
		<p>「子どもの療育について－療育現場での実践をふまえて－」</p> <p>療育福祉センター通園事業部 部長 楠目 千都</p> <p>自閉症児通所支援「える」での療育の実践、保育所等訪問支援事業を通して保育所や幼稚園での支援の実践について講義を行う。</p>
7	10月4日 (火)	<p>「ペアレント・トレーニング（ティーチャーズ・トレーニング）の概念と手法」</p> <p>療育福祉センター発達障害者支援センター チーフ 野々宮 京子</p> <p>ペアレントトレーニングは、子どもの行動を理解し、具体的な対応を身につけることで、日常生活がより穏やかに送れるように保護者をサポートするプログラムであり、保護者のみならず、支援者にとっても子どもとの関係づくりに有用な方法である。講義では、主に精研式のプログラムの概要について紹介する。</p>
		<p>「障害のある子どもの適切な就学について」</p> <p>県教育委員会特別支援教育課 チーフ（特別支援学校担当） 谷澤 朗 発達障害担当 指導主事 弘瀬 千秋</p> <p>特別支援教育においては、共生社会の形成に向け、インクルーシブ教育システムの構築を推進している。障害のある子どもとない子どもが、可能な限り同じ場で学ぶことを目指しつつ、一人一人の「教育的ニーズ」に応じて、多様な学びの場を用意している。講義では、それぞれの学びの場と、適切な就学に向けた取組について説明する。</p>